

-거든요

～なんですよ（理由の補足）

相手が知らないことを説明します。-잖아요 とは前提が正反対で、こちらは新しい情報を伝える形です。

■ つけ方

品詞	形	例
すべての語幹	-거든요	가다 → 가거든요
パッチム	関係なし	좋거든요
名詞	(이)거든요	학생이거든요
過去	-았/었거든요	갔거든요
タメ口	-거든	가거든
位置	あとから説明	理由を後置する

■ -잖아요 とどう使い分けるか

相手が知らない理由を補足します。내일은 못 가요. 약속이 있거든요 (明日は行けません。約束があるんです)。

잖아요 とは前提が逆です。잖아요 は「知っているでしょう」、거든요 は「知らないでしょうから言いますが」。日本語の「じゃないですか」と「なんですよ」の差に近いと考えてください。

理由を後に置くのが特徴です。先に結論を言い、そのあとで事情を添えます。못 갔어요. 비가 왔거든요. 日本語も「行けませんでした。雨が降ったんです」と同じ順番が可能なので、感覚は近いです。

言い方によっては強く響きます。저도 바쁘거든요 は「わたしだって忙しいんですけど」と反発の色が出る場合があります。

■ 例文

- ① 오늘은 일찍 가야 해요. 약속이 있거든요.
今日は早く帰らなければなりません。約束があるんです。
- ② 그 영화 봤어요. 친구가 추천했거든요.
その映画見ました。友だちが勧めたんです。
- ③ 한국어를 공부해요. 한국 드라마를 좋아하거든요.
韓国語を勉強しています。韓国ドラマが好きなんです。
- ④ 죄송해요. 제가 초보거든요.
すみません。わたし初心者なんです。
- ⑤ 조금 늦을 것 같아요. 길이 막히거든요.
少し遅れそうです。道が混んでいるんです。
- ⑥ 그건 좀 어려워요. 시간이 없거든요.
それは少し難しいです。時間がないんです。

■ 紛らわしいもの

-잖아요
相手が知っているはずのことを指摘します。거든요 は知らないことを説明します。
알잖아요. (知ってるでしょう) / 알거든요. (知ってるんですよ)

-아서/어서
理由を前に置きます。거든요 は後に置くので順序が逆です。
약속이 있어서 못 가요. (前) / 못 가요. 약속이 있거든요. (後)

-(으)니까
話し手の判断による理由です。거든요 は情報の補足で、位置も働きも違います。
시간이 없으니까 가세요. (勧め) / 시간이 없거든요. (説明)

■ まちがえやすい点

- ✕ 학생거든요.
○ 학생이거든요.
名詞には (이)거든요 をつけます。
- ✕ 알거든요! — 目上の人に
○ 알고 있습니다.
거든요 は反発の色が出る場合があります。目上の人には避けます。
- ✕ 거든요 가세요.
○ 시간이 없거든요. 그러니까 가세요.
거든요 は文を終える形です。そのまま命令にはつなげません。